

10月26日（月）全校朝会（放送）

それでは姿勢をよくして、元気よく朝の挨拶をしましょう。  
おはようございます。

今日のお話は、「マジシャン」についてです。マジシャンは、「手品師。魔術師。」とも呼ばれています。

先日、世界的なマジシャンである原大樹（はらひろき）さんという方のお話を聞く機会がありました。原さんは現在30歳ですが、22歳の時にマジックの世界大会でグランプリを取りました。23歳のときに、日本奇術協会の「ホープ賞」を史上最年少で受賞しました。アメリカなど海外を中心に活躍しているので日本ではまだ有名ではありませんが、輝かしい経歴の持ち主です。

原さんがマジシャンになろうと思ったのは5歳の時だそうです。5歳の時にみたピエロがやっていたマジックを見て「すごいな」と思ったそうです。それからマジシャンになろうと思ってたくさん練習したそうです。テレビのマジックショーをビデオに録画して、ビデオテープがすり切れるくらい何回も見て練習しました。そして、マジックの大会に出ました。自分は絶対優勝できる！と信じていたのですが、結果は8位でした。原さんは、とても悔しい思いをしました。日本には勝つことができない、アメリカに行って練習しようと考え、アルバイトをしてお金を貯めて、15歳の時にアメリカに行きました。それから、アメリカで働きながらマジックの練習をしました。そして、19歳の時に若いマジシャンの世界大会で、日本人として初めてグランプリを受賞しました。現在原さんは、世界的に有名なマジシャンとして活躍しています。

原さんが話してくれた中で一番印象に残った言葉は、

**「できない理由を考えるのではなく、どうしたらできるようになるか考える。」**

という言葉でした。また私たちは上手くいかなかったら、「あのときは調子が悪かったからできなかった。」とか、「あの人がいなかったら、もっと上手くできたのに」などと、人のせいやまわりのせいにすることがあります。原さんは、どんなときも人のせいやまわりのせいにはしないと話していました。いつも、どうしたらできるかなと考えているそうです。原さんの夢はなんと、宇宙に行ってマジックをすることだそうです。

皆さんはどうですか？やりたいことや将来の夢はありますか？

「どうせできないや」と思う前に、「どうしたらできるかな」と考える人に、ぜひなってください。そして今日からあきらめそうになったとき、どうしたらできるかなと考えてみてください。

それではこれで今日のお話を終わります。

